						リチャーズ・ポール	免許・資格	小学校教諭	
捋	坐 1	科目	名	英語	教員名	(Paul Richards)	との関係	幼稚園教諭	必修
.~	<i>→</i> 1		~H	コミュニケーションⅡ	1 /A/H	(raar Richards)		保育士	必修
+50ž	業	11%	442	(左23)	担当形態	 単独		こども音楽療育士	20.19
			態	演習 GAI202	担当沙思	平/3	大米 無 <i>体</i>	小幼コース	以恢
科単	月/	<u>番</u> 立	<u>号</u> ****	1 単位	配当年次	2年前期	卒業要件 	幼保コース	必修
科	1.	И.	<u>数</u> 目	1 半位				列床ュース	北修
	8L 日	に合							
	科目に含め 必 要 事 項								
科			月						
系			<u> </u>						
_	般	目	標	英語の基本的な構文を正しく理解し、身の回りの事柄や社会的な事柄を理解し表現するための語彙力を身に付けることを目標とする。 (1) とくに 英語を「聞く」「話す」ことに重点を置くが、より正確な英語を身に付けるために「読む」「書く」活動も取り入れる。 (2) 英語を聞いて理解し、聞いた事柄に対して、流暢さと正確さの両面で「聞いてわかる」英語で返答できるようになる。 (3) 英語を読んできちんと理解したり、正確な英語を書いたりすることができるようになる。 (4) 教育学部における英語コミュニケーションの 授業ということを考慮して、内容は学校で行われるコミュニケーションを想定し、そのために必要な英単語、英語表 現を身に付ける。 The goal is for students to correctly understand basic English syntax and acquire the vocabulary necessary to understand and express themselves in everyday and social matters. (1) Emphasis will be placed on listening and speaking English, but reading and writing activities will also be included in order to develop more accurate English. (2) Students will be able to listen to and understand English and respond to what they hear with both fluency and accuracy in comprehensible English. (3) Students will be able to read and understand English and write accurate English. (4) Considering that this is an English communication class in the Faculty of Education, the content of the course assumes communication that takes place in schools, and students will acquire the English vocabulary and expressions necessary for such communication.					
到	達	目	標	生として 学校生活に 徒に教える小学校英語 模範となるような 英 To become accustor be able to use Engl fessionally in school tary school students they may serve as a	おける専門的 Eは基本的な 語を使えるよ med to using ish not only ols. Further s, this coun model Engly 合って進めてい ですすめてい	英語ではあるが、児童 こうになること。 g English with conf y for everyday occa rmore, although onl rse aims to help st ish speaker for the 行く。英語を聞いて更 て来た表現を使ってみ く。とくにReadingの	使えるように idence and to sions, but all y basic Engli- udents improvir students. 里解し、コミュ を文を組み立て セクションは	なること。さらに、リ 英語を使うのである become familiar w lso for communicati ish is taught to el ve their English so ニケーション活動を る、といった基本的に 200語程度の比較的	B童・生から、 ith and ng pro- emen- that し、書い な英語しい
授	業 0	の概	要		して学校とい 手表現が多い 一英語表現も 見在・過去・野 も意識する。	いう特定の場所が想定 が、同時に日常生活ペ 学ぶことができるより 見在完了などの時制や 必要がある。それらの	されているただ 学身の回りの事 うになっている 、進行形・受動 、文法事項もお	め、学校・教科・授業 柄、子どもの遊びや ら。当然、これらの 動態・比較級・最上級 3ろそかにすることな	業といっ 日本文化 ことを正 み、前置

教員を目指す学部であるため、将来は児童・生徒の前に立って模範となるような英語を使うということを常に念頭に置き、自信を持って英語が使えるようになることを目指す。

Classes will follow the textbook. Students will practice listening to and understanding English, various speaking activities, closely reading English passages, and constructing English sentences using the expressions that appear in the text. In particular, the Reading sections are approximately 200 words in length and are written in relatively easy English. Students will learn vocabulary and word usage by reading these texts. Because the textbooks are designed for a school setting, many of the English expressions are related to school, subjects, and classes, but students will also be able to learn English expressions for everyday life, everyday matters, children's games, and matters related to Japanese culture. Naturally, to convey your ideas accurately, it is necessary to be aware of tenses such as present, past, and present perfect, as well as the use of progressive, passive, comparative, and superlative tenses, prepositions, adverbs, and so on. We will review these grammatical patterns as necessary when they appear in the text. Students will further develop their grammar and speaking fluency by using these grammar points in communicative activities. As a department that works to train and educate future teachers, I would like you to keep in mind that the goal of this course is for you to be able to confidently use English in the classroom and to serve as a model to your own students.

ディプロマ・ポ リシーとの関 係

本講義は、教育学部 のディプロマ ・ ポリシーに掲げる「3 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている。」「7 基礎的な英会話 及び音楽力を身につけている。」を育成する科目として配置している。なお、クラスサイズは20名 程度 とする。

第1回: オリエンテーション (授業の進め方、使用するテキスト、予習の仕方、復習の仕方、課題の提出、評価について)、クラスルーム・イングリッシュ。

第2回: Unit 1: ALT s first visit to Minami Elementary School (初めて 会う 時の挨拶の仕 方、学校の大まかな様子を伝える、頻度や時間の言い方、日本の学校の役職名)

第3回: Unit 2: Getting to know each other (簡単な自己紹介、自分の興味関心 を伝える表現、遊具の名前、学年の言い方)

第4回: Unit 3: School lunch (日程や待ち合わせに使われる表現、学校給食の説明、日本の食べ物の名前)

第5回:Unit 4: Play time (学校での休み時間の過ごし方、子どもの遊びを英語で)

第6回:Unit 5: The first English class (授業の始め方、授業で指示するときの簡単な英語、 授業の流れを説明するための英語、ほめ言葉)

第7回: Unit 6: Teaching numbers 1 (英語の数に慣れるには、数を使ったライムや歌)

第8回:復習テスト

授業計画

第9回: Unit 8: Reflection (授業で使う振り返りカードについて、振り返りを英語で行うための表現)

第10回: Unit 9: Activities at a kindergarten (幼稚園ではどのような英語活動が可能か、体の部位)

第11回: Unit 11: Making onigiri and curry (家庭科での調理実習に関する英語表現、おにぎりやカレーの作り方に関する英語表現)

第12回: Unit 12: Making a town map (町の地図作成作業に関わる英語表現、建物や店の名前) 第13回: Unit 13: Introducing Japanese culture (どのような日本文化を伝えるのか、折り紙の紹介や説明に関する英語表現)

第14回: Making a dialogue (今まで学習した表現や語彙を使って独自のダイアローグをさくせいする)

第15回:Presentation (ダイアローグを暗記して発表する

	評価:次の観点から総合的に評価する。		
	・授業の準備(予習・ 練習問題・オンラインの課題 20%		
	・授業中の活動 (ペア グループ活動・発表) 20% (出席して活動していればプラス・		
	非活動的であればマイナスにすることもあ		
	り得る)		
	・授業内容の理解 小 テスト・ 提出物 ・・・・・・30%(提出物は期日を守ること。 原		
学生に対する	則として 遅れたら受け取らな		
評価	ν _°)		
	・復習 期末テスト30% (60%を取ること)		
	レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。		
	・コメントを記載して返却する。		
	・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。		
	・答案例を配布する。		
時間外の学習	授業外で、週に 2時間程度の 時間を使って予習・復習をすること。 付属の CD があ		
について	ので、授業外でもそれを何度も聞いて活用することがのぞましい。		
テキスト	相羽千洲子他 Hello, English: English for teachers of children 『子供に教える先生のため		
/ T / T	の英語:会話か ら授業まで』 成美堂.		
参 考 書 ・	必要に応じて ワークシート、参考文献等を配布するまたはMoodleサイトに載せる。		
参考資料等	2 X (-) 10 C J J V T (J J J J M () E HE II) D SO / E ISMOORTE J T T I I I I I I I I I I I I I I I I I		
	クラス分けの基準は、習熟度による。一コマの授業で一ユニットを終えるので、予習は必須である。		
	わからない単語は辞書で調べ、調べてもわからない英語表現は必ず質問をして、ひとつひとつ確認		
担当者からの	しながら授業に望むこと。		
世ョ有からの	Class placement is based on proficiency level. Preparation is essential, as a unit is		
7 9 6 - 9	completed in one class. Students are expected to look up unfamiliar words in the dic-		
	tionary and ask questions about English expressions they do not understand even after		
	looking them up, and to check each one before class.		
47 ,777	毎週 水曜日 14:15 ~ 17:15		
オフィスアワー	Every Wednesday 2:15 to 5:15 p.m.		